

3. 調査結果の概要

3.1 区全体の緑被等

(1) 緑被率：前回同様（屋上緑化を含む）17.2%

区全体の緑被率は、平成 29 年度調査の屋上緑化を含んだ場合と同様の 17.2%であった。また、23 区内での緑被率の順位は 16 位であった。

<5.1.1/20 ページへ>

(2) 樹木被覆地率：0.3 ポイント増加して 9.7%

区全体の樹木被覆地率は、平成 29 年度調査より 0.3 ポイント増加し 9.7%であった。「足立区緑の基本計画」の中間目標値（令和 6 年）は樹木被覆地率 9.8%であることから、目標達成には 0.1 ポイント低い結果であった。また、23 区内での樹木被覆地率の順位は 17 位であった。

<5.1.1/20 ページへ>

3.2 集計単位別の緑被等

(1) 市街化区域の緑被率：15.3%

（屋上緑化を含まない場合は前回同様の 15.1%）

市街化区域の緑被率は 15.3%、市街化調整区域の緑被率は 36.0%であった。屋上緑化を含まない場合の平成 29 年度調査との比較では、市街化区域が 15.1%で変化はなく、市街化調整区域は 0.8 ポイントの増加であった。

<5.1.3/26 ページへ>

(2) 用途地域別の緑被率：準工業地域が最も増加し 14.0%(+0.4 ポイント)

緑被率が最も高い用途地域は、工業専用理域の 28.1%、最も低い用途地域は商業地域の 5.8%であった。

<5.1.4/28 ページへ>

(3) 都市構造区分別の緑被率：公有地 31.8%、民有地 12.3%

公有地の緑被率は公園緑地や河川敷等を含むことから 31.8%、民有地の緑被率は 12.3%であった。平成 29 年度調査との比較では、屋上緑化を含まない緑被率において、公有地が 0.3 ポイント増加、民有地が 0.1 ポイント減少であった。

<5.1.6/34 ページへ>

(4) エリアデザイン：緑被率が最も高い江北エリア 19.6%

緑被率が最も高いエリアは江北エリアの 19.6%、樹木被覆地率が最も高いエリアは竹の塚エリアの 11.95%であった。緑被率が最も低いエリアは梅島・西新井エリアの 11.2%、樹木被覆地率が最も低いエリアは千住エリアの 6.1%であった。

<5.1.7/40 ページへ>

3.3 農地調査

令和 5 年度調査の農地面積は 40.6ha で、平成 29 年度調査から 14.5ha の減少であった。農地のうち生産緑地地区が 26.9ha で農地全体の 66.3%、宅地化農地が 13.7ha で 33.7%となっている。

<5.3/48 ページへ>

3.4 地表面熱分布調査

令和 5 年 9 月 13 日の地表面温度は、最も高い場所が入谷九丁目ゴルフ練習場付近の 33.97℃、最も低い場所が舎人公園の大池付近の 26.00℃であった。なお、この日の東京の最高気温は 32.7℃である。

<5.4/54 ページへ>